

既定の授業時間の考えを捨て、長時間指導で
塾生の基礎学力向上を徹底的におしすすめよう

開倫塾
塾長 林 明夫

1. 東日本大震災の中、塾生の学力向上という崇高な社会的使命達成のために、開倫塾で連日御勤務頂くすべての校長先生、すべての教職員の皆様に心から感謝申し上げます。ありがとうございます。
2. 社会は騒然とし、学校やすべての社会的活動は計画停電に対応するため大混乱、休止状況に陥っています。学校が休校や早帰りになった児童・生徒のみならず、自宅待機になった社会人までもが何をしたらよいかわからず、茫然自失(ぼうぜんじしつ)に陥っている方が多いようです。
3. 塾生の成功の実現のために学校教育を補う、それも徹底的に補うことを企業としての社会的使命とする開倫塾は、このような時にこそ、塾生への徹底的な長時間指導を行うべきと私は考えます。
4. 開倫塾では、ガソリンの供給不足の折、校長先生はじめ全教職員の皆様が担当する校舎に到着して頂くことを最優先とし、大半の会合や研修会、研究会を中止にしています。校長先生はじめ全教職員の皆様が勤務時間だけでよいですから、開倫塾に来られる塾生に既定の授業曜日に既定の指導時間指導するという考え方を一切捨て、本来の授業にない曜日でも、また、本来の指導時間以外の時間でも学校で授業のない塾生の指導を積極的に行って下さい。
校長先生や全教職員の皆様の勤務時間中は、すべての教室が塾生でいっぱいになるまでの指導を切望します。
5. いつ何時、何があってもおかしくない状況です。今やれることは、今のうちにすべて終わらせておく。3月分授業内容は1日も早く終了させる。春期講習を期日前から先取りして行うことも積極的に行って下さい。4月分の授業に1日も早く入ることも、校長や全教職員の皆様に是非実行をお願いします。英検指導や漢検指導、言語力検定指導もどんどん行って下さい。
6. 学習塾は学校とは異なります。何かを言われるまで何もしないのでは、学習塾は成り立ちません。塾生の学力向上、塾生の成功の実現に向けた積極的な行動をどんどんと続けてはじめて、学習塾としての社会的使命が果たせます。消極的な発言、特に「こんなことはやらなくていいよ」という言葉は一切口にしないように心からお願いします。

7 . 今日もまた、私はどんどん文章を書き続け、皆様の下にお送りします。是非それらを積極的に御活用なさり、自らの社会的使命を果たされることを期待申し上げます。

8 . 塾生には、自覚を促す「武者語り」、新聞をすみからすみまで毎日読むこと(スクラップブックを作ること)、ためになる本をじっくり、ゆっくり、丁寧に何回も読むこと(書き抜き読書ノートをつくること)、勉強の仕方(「学習の3段階理論」)を身につけること、被災地にいらっしゃる方々のことを考え長時間勉強し続けることを、毎日毎日繰り返しお伝え下さい。

そして、4月に新学年を迎えるころまでには、自分の意思で机に向かい、また、学校行事や部活動、家の手伝いをするような「自律的に活動する能力」を備えた「規律ある人」になるよう塾生を教育して下さい。がんばりましょう。

* 次の文章を塾生分コピーし、コメントを加えながら代読して下さい。また、家庭に持ち帰り、保護者の皆様にお渡しするよう塾生にお伝え下さい。

感謝